

## 質 問 書

※ この MS-WORD 文書のまま送付お願いいたします。(PDF 等のフォーマットへ変換しないでください)

2022 年 12 月 14 日

「(案件名)ブルキナファソ国農業を通じた栄養改善プロジェクト (実施フェーズ)」

(公示日:2022 年 11 月 30 日/調達管理番号:22a00723)について、質問と回答は以下の通りです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1.	11 ページ、第 6 条 実施方針及び留意事項(2) 介入セクターと対象	『<仮説> 本案件は、成果3:農業(SHEP による所得創出・収入向上)、成果4:保健(栄養啓発)、成果5:学校(父母会や学校菜園を通じた基礎的な栽培技術の訓練や栄養啓発、父母会を通じた自主給食)を通じて、給食の裨益対象たる学童だけでなく、住民の家庭全体への裨益を目指す。』とありますが、プロジェクトの対象は、対象サイトの住民全般を仮定されているのか？	ご理解の通り、学童だけではありません。したがって、学校における活動は、学童への裨益に加え、学童を経由した親への啓発、更には条件が揃えば、学校給食から生じうる食材の需要・周辺家計への裨益なども含めてご検討ください。
2.	13 ページ、第 6 条 実施方針及び留意事項(7)介入・研修パッケージの工夫と軽量化	『本業務において開発・実証する研修パッケージは、・・・協力期間中から実施後のブルキナファソ側による運営・展開可能性を考慮した軽量化を念頭に置いた介入方法を計画する。』とありますが、「軽量化」というのは、具体的に何を指しているのか、ご教示いただきたい。	例えば、農業・保健・教育の各セクターで使用する教材の難易度が高く、また量が多い場合、プロジェクトでの介入が終了すると同時に活動が停滞することが懸念されます。地域における実証を通して、コンポーネントの優先度を付けるとともに、普及員、保健センターおよび学校関係者が既存の業務に加えて無理なく実施継続できる範囲に絞っていくことを想定して「軽量化」と表現しています。

			プロジェクトの当初は試行錯誤として、様々な要素が研修に盛り込まれるものと想定しております。しかし、成果の持続性のため、本事業の最終的な研修パッケージは、実施機関の予算や、想定しうる外部ドナーからの支援の範囲に収められるようにしたく考えます。軽量化のための工夫やプロセスについてはご検討頂けると幸いです。
3.	18 ページ、第 7 条【共通】(4) JICA による各種調査への協力	中間レビュー調査および終了時評価の目的、時期、主管 (JICA 本部/ブルキナファソ事務所)、ブルキナファソ側の関わり方等、既に決まっていることがあれば、ご教示いただきたい。	時期は未確定ですが、中間レビューは 2024 年第 2 ~ 第 3 四半期、終了時評価は協力期間終了の 6 カ月程前を目途に調整することになります。各調査の目的は以下をご参照ください。 <a href="https://www.jica.go.jp/activities/evaluation/middle-end.html">https://www.jica.go.jp/activities/evaluation/middle-end.html</a>

以上